

## 新製品発表

### MPC8349 500/667MHz 採用 CompactPCI モジュールを開発・販売開始

株式会社アバールデータ（代表：嶋村 清、本社：東京都町田市旭町 1-25-10、URL：http://www.avaldata.co.jp、営業部/TEL：042-732-1030 FAX：042-732-1032、E-Mail: sales@avaldata.co.jp）は、CompactPCI モジュール ACP シリーズの製品として、新たにフリースケール・セミコンダクタ社製 CPU、MPC8349 500MHz / 667MHz を搭載した CompactPCI 3U サイズの CPU モジュール「ACP-154」を開発し販売開始する。

「ACP-154」は、フリースケール・セミコンダクタ社のプロセッサ MPC8349 500/667MHz を搭載した 3U×4HP サイズ、PICMG 2.0 Revision 3.0 対応 CompactPCI バスの CPU モジュール製品。ギガビットイーサネットを標準搭載している。SoC 化により、プロセッサ/チップセット間転送速度のボトルネックを改善。モジュールとしてのトータルパフォーマンスに優れた製品となっている。

今回 販売される MPU モジュール「ACP-154」は、2006 年 9 月 13 日（水）目黒雅叙園にてフリースケール・セミコンダクタ・ジャパンが開催する「Freescale Technology Forum Japan 2006」ボードゾーンで展示される。

製品名 : MPC8349 MPC モジュール

型式名称 : ACP-154

出荷開始 : 2006 年 12 月 11 日（受注開始 : 2006 年 9 月 13 日）

販売予定価格 : ￥128,000（税別）



## Press Release

AVALDATA CORPORATION

### ■ACP-154 の特徴

- プロセッサにフリースケール・セミコンダクタ社 MPC8349 500MHz/667MHz を搭載。
- メインメモリは最大 256M バイト (ECC 対応)
- ウォッチドックタイマ搭載
- ギガビットイーサネット I/F、RS-232C I/F を搭載
- PICMG2.0 Revision3.0 準拠。
- システムスロット、ペリフェラルスロットの自動認識
- ENUM#信号監視によりスレーブボードの Hot Swap 対応。
- RoHS 対応製品

### ■製品の応用分野

生産ラインの制御機器、検査分析機器、計測機器、試験装置など

### ■仕様

CPU	MPC8349 500MHz (フリースケール・セミコンダクタ) ※1 ・ L1Cache I-Cache32KB / D-Cache32KB(On-die) ・ 同一パッドで 667MHz 品を実装可能
メインメモリ	DDR333 SDRAM Max256Mbyte(64bit)
Boot ROM	Flash ROM 512Kbyte
Compact Flash	Compact Flash ソケット×1Slot IDE I/F (Type I 3.3V)
SRROM	Serial EEPROM 512byte
RTC	バッテリーバックアップ
ウォッチドック・タイマ	100ms
Reset SW	フロントパネルに設定
インターフェース	Ethernet : 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T × 1ch (RJ-45) * オプションにより 2ch 搭載可
	Serial I/F RS-232C × 2ch ・RJ45(UART)
Compact PCI	64bit/32bit 33MHz 5V (PICMG2.0 Rev.3.0 準拠)
電源	5V 単一電源
使用環境	温度 : 0~50°C 湿度 : 35~85% (結露無きこと)
物理形状	Compact PCI 3U×4HP シングルスロット (160mm × 100mm)
サポート OS	VxWorks (Tornado2.2) 、Linux

※1 ACP-154 は、MPC8349E (Security engine 内蔵品) も実装可能である。

※仕様及び外観は改良のため予告無く変更されることがあります。

■ACP-154 のブロック図

